

交流型集落道「堺南部地区」の自然環境への配慮等の取り組み状況

事業概要

目的

本事業が位置する堺南部丘陵地域は、大都市近郊に隣接し、豊かな里山的自然環境を有しており、魅力ある農畜産業関係拠点施設が点在している。本事業は、これらの農畜産施設を有効に活用し、河内長野市、和泉市などの周辺地域を含めた地域の活性化を図り、地域連携、都市住民との交流促進などの有機的なネットワークの形成を実現する。

内容

延長 1.4 km
幅員 10.0m (3m歩道付き)

総事業費 約18億円

(内 訳) 用地買収費 約7.5億円
工事費 約10.5億円
(財源内訳) 国 約9億円
府 約2.7億円
市 約6.7億円

これまでの経過

平成14年度：建設事業評価委員会にて以下「条件付き事業実施手続き承認」

- ・ 農業振興・地域振興の実現に向けた取り組み
- ・ 自然環境への配慮

平成15年度：同委員会へ条件への取り組み状況報告を行い、「事業実施は妥当」の意見具申。ただし、以下 について報告。 について適切に取り組むべき（意見付記）

モニタリング調査に基づくワークショップの取り組みと府の具体策の報告

右記

交流型農業など地域の特色ある農業振興の事後報告

完成後、適切な時期に報告

堺酪農団地の環境問題について
市と連携し、取り組んでいく。

モニタリング調査に基づくワークショップの取り組みと府の具体策の報告

モニタリング調査に基づくワークショップの取り組みと府の具体策
モニタリング調査と具体策

オオタカ等の猛禽類

<調査>平成14～17年のオオタカ繁殖期の生息状況調査を実施（H17は調査中）
<対策>専門家の意見（H17.5.11）により、今年度予定の工事区域は、大規模な工事は非繁殖期（8月～1月）に実施する。

カスミサンショウウオ

<調査>平成17年2～3月に調査実施。道路計画地の下流で、卵を確認。
<対策>工事濁水流入防止、乾燥防止等の対策を実施。

ゲンジボタル

<調査>平成12～17年に環境団体がルートセンサス実施
<対策>橋梁照明の光拡散防止対策

ほ乳類

<調査>平成16年8月、平成17年2月で痕跡調査
<対策>アンダーパスの設置でロードキル対策

植物

<調査>平成14年調査
<対策>地域種の道路法面への移植、既存樹林の乾燥防止対策の実施

堺南部丘陵の地域振興と自然環境を考える会
自然環境対策の報告
具体策は直接協議（環境団体と府）、会へ報告

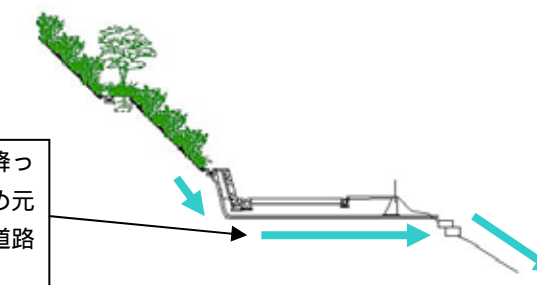
工事濁水流入防止、工事中乾燥防止

仮設沈砂池・仮排水路を設置し、濁水を下流に導水。生息場所乾燥時には水分補給する。

施工後の乾燥防止

道路法面に降った雨水を元の谷に戻す構造（下図）とする。

断面図



道路外への光拡散防止の対策

光源を低位置に設置し、道路外へ光の拡散を防ぐ橋梁照明の採用（右は他事例の写真）



アンダーパスにより動物の通路確保

カスミサンショウウオ、テン、タヌキ等の通路として、盛土部の排水管に動物用通路（アンダーパス）を設置（下はイメージ図）

断面図



今後の進め方

府事業について
環境配慮設計については、今後も工事中のモニタリングを実施しながら、検討を行う。
工事は、本年8月より実施予定。

「堺南部丘陵の地域振興と自然環境を考える会」について
里山保全の具体策を検討。

「堺南部丘陵の地域振興と自然環境を考える会」の概要

<会の立ち上げの経緯>

平成14年度の大阪府建設事業評価委員会において、交流型集落道（現在の府事業名：交流ネットワーク整備事業）「堺南部地区」に対する意見具申で条件が付されたことを直接の契機として、本地域の将来の環境保全や維持管理のあり方、また、事業の自然環境への配慮について、地元関係者（農業者、地域住民、地権者、環境団体等）が十分協議・意見交換しながら、協働・連携していく仕組みづくりの第一段階として、「堺南部丘陵の地域振興と自然環境を考える会（ワークショップ）」を立ち上げた。

<メンバー>（主な出席者であり、内容により出席者は変動した）

座長：増田昇（大阪府立大学生命環境科学部教授）

地元：上神谷地区自治連合会長、鉢ヶ峯寺自治会長

農業団体：(株)堺ファーム、堺農業公園(株)、鉢ヶ峯土地改良区、鉢ヶ峯営農組合、コスモス館

環境団体：鉢ヶ峯の自然を守る会、(社)大阪自然環境保全協会

行政：大阪府農政室、泉州農と緑の総合事務所、堺市農政部、企画部、南支所



<各回の主な内容>

- 第1回 日時：平成15年7月9日（水）
内容：堺南部丘陵での各組織の活動状況、意見交換（府の農振ビジョン、市の農振ビジョン、市の緑の基本計画、市のふれあいの森計画、酪農団地活性化計画、府の農のウォーキングロード計画、天濃池ピオトープ、鉢ヶ峯の自然を守る会の活動、大阪自然環境保全協会の活動、東西道路延伸事業）
- 第2回 日時：平成15年8月6日（水）
内容：地域の農業振興への取り組みや問題点について（鉢ヶ峯営農組合の農作業応援団等の概要、酪農団地の施設老朽化による問題点と活性化への取り組み、ハーベストの丘の農業体験プログラムの導入による地域連携の取り組み）
- 第3回 日時：平成15年9月4日（木）
内容：鉢ヶ峯の自然を守る会から里山保全に対する提案、大阪自然環境保全協会の他地区での里山保全活動事例紹介、里山保全の実験的な取り組みが出来ないか）
- 第4回 日時：平成15年10月2日（木）
内容：里山保全の仕組み作りの手がかり（各人が何ができるかのメニュー提案）及び里山保全と農業振興、東西道路延伸事業との関わり（各関係者の意見）。鉢ヶ峯の自然を守る会より、交流型集落道路堺南部地区建設への意見文書
- 第5回 日時：平成15年11月4日（火）
内容：交流型集落道路「堺南部地区」の準環境アセスについて（壊滅的な影響を与える、府の対策は具体策が見えない等の批判論）
- 第6回 日時：平成15年11月11日（火）
内容：交流型集落道の環境配慮について、今後の継続的な検討を行う。南部丘陵125haの保全のあり方についても今後の議論
-----これまでの状況を建設事業評価委員会に報告-----
- 第7回 日時：平成16年3月7日（日） 堺南部丘陵現地
内容：現地調査（概略設計ルート調査）、交流型集落道路への建設事業評価委員会の意見具申について、環境配慮の具体策、市の南部丘陵検討部会での「里づくり方針」素案説明
- 第8回 日時：平成16年4月10日（土） 堺南部丘陵現地
内容：現地調査、交流型集落道路の環境配慮の具体策（鉢ヶ峯の自然を守る会からの質問、意見への対応）今後も詳細協議継続。市の南部丘陵の考え方。
- 第9回 日時：平成17年2月23日（水）
内容：市の「里づくり方針」の検討状況。交流型集落道路事業の進捗状況（のり面植生実験中間報告：大阪自然環境保全協会）。酪農団地の活性化検討状況。
- 第10回 日時：平成17年4月17日（日）堺南部丘陵現地
内容：鉢ヶ峯の自然を守る会の「こんな里山がいいな」提案、現地調査。
- 第11回 日時：平成17年5月30日（月）
内容：里山再生試験区の検討。営農組合の取り組み。